

(社福) 北摂杉の子会 発達障がい児療育支援部 合同公開講座

発達障がいの子どもたちの 将来を見据えた支援

自閉症療育センターwill ぷれいすBe
作業療法士 小林哲理

当日追加分のスライドについて



※追加スライド枚数は、下記のとおりです。なお、当日追加スライドには、左上に「追加スライド」と記載しております。配布資料と併せてご確認くださいませよう、お願いします。

- | | | |
|---------------------------------------|---|------|
| ・ 1 発達障がいのこと | ⇒ | 10枚 |
| ・ 2 感覚のこと | ⇒ | 2枚 |
| ・ 3 成人の通所施設での様子 | ⇒ | 追加なし |
| ・ 4 ライフステージにおける課題と 子どもと養育者の関係のつくり方 | ⇒ | 4枚 |
| ・ 5 ワンポイント・アドバイス! | ⇒ | 追加なし |

「障がい」はどこにある？障害物競争



徒競走は、発達障がいがある児にとって最も嫌いな種目。
障害物競走は、誰でも勝者になれる可能性がある種目として、
運動会で導入される。

障がいの考え方-いろいろありますが...

- 障がいは子どもにくっついているものではない
 - 障害物競走のように、障害はフィールド（社会、共同体）にあるもの。関係の中で障がいが生じる
 - 逃れるものではなく、クリアする（対応する）もの
- 障がいは社会との関係で生じるもの
 - 同じ行動でも、受け入れられる社会もある。
 - 同じ行動でも、時、場によっては受け入れられない
 - 人によって得意な種目がある

扁桃体と小脳の異常

- 扁桃体：記憶や情動、感覚情報の調整を司る
- 小脳：行動の自動化を担当



- 知覚過敏、感覚の異常、興奮のしやすさ、
睡眠障害、運動の不器用

セロトニン系の異常

- 神経には興奮を高める神経と興奮を沈める神経がある
- セロトニンは興奮をなだめて緊張を和らげる



- 緊張をなだめる神経の調整ができないと興奮を高める神経が働く（ドパミン系代償的機能亢進）



多動、注意欠陥、不眠、暴力

ミラーニューロンの異常

- 他人が何かをしているのを見ただけで、脳の中に同じ動作が自動的に生み出される
- ↓
- 模倣がうまくいかない（逆転バイバイ等）
- 模倣は他者への共感の基盤となる
- ↓
- 共感が育ちににくい、社会性が育ちににくい

オキシトシンの異常

- オキシトシン：大脳から分泌されている乳汁分泌や子宮収縮の働きとして知られる
- 最近、脳神経に作用し、不安や社会性に関する効果があることがわかった。
- 女性に多いホルモンであり、自閉症スペクトラムが男性に多いことと合致する。
- 点鼻すると、会話が増えた、感情の理解が良好になったという報告がある

神経接合不全

- 知覚情報と前頭葉を結ぶ連合野と呼ばれる部分において神経がきちんと接合されていない、混線がある



- 前頭前野の機能である、予定を立てたり、スケジュールを逆算したり、状況に応じて行動を変えるといったプログラムを作る実行機能の異常、いくつかの脳処理を同時に行うことの苦手さ

脳のちょっとした不具合 (中川)

- 脳の中身は電球と電線であると考えてみます。
- 電球の数は揃っていても、横向きについていたり
- 電線が少し細いので電気の通りが弱くて暗い所あり
- 電線が途中で隣と混線して注意が散漫に
- 配線工事が終わっていない場所もある
- スイッチのオンとオフがうまくいかず、つきっぱなしもある

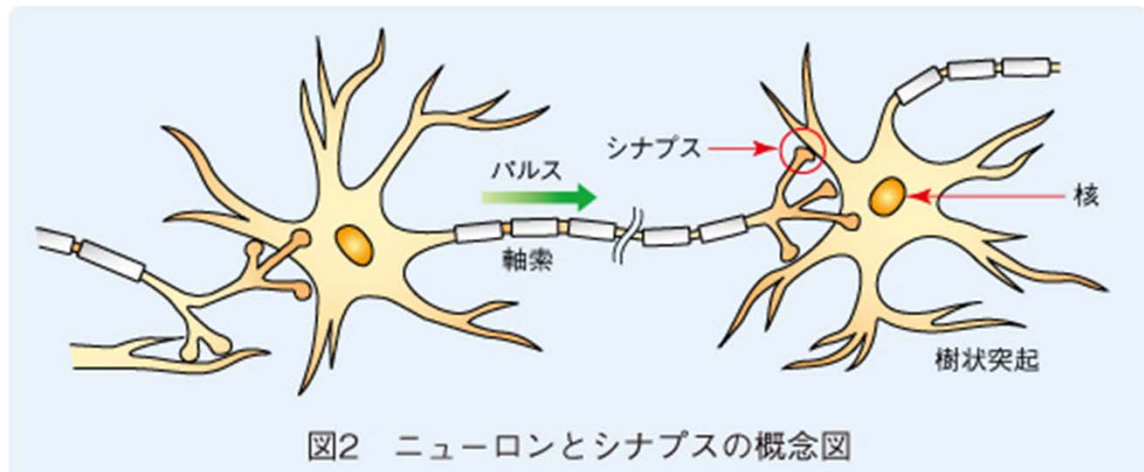
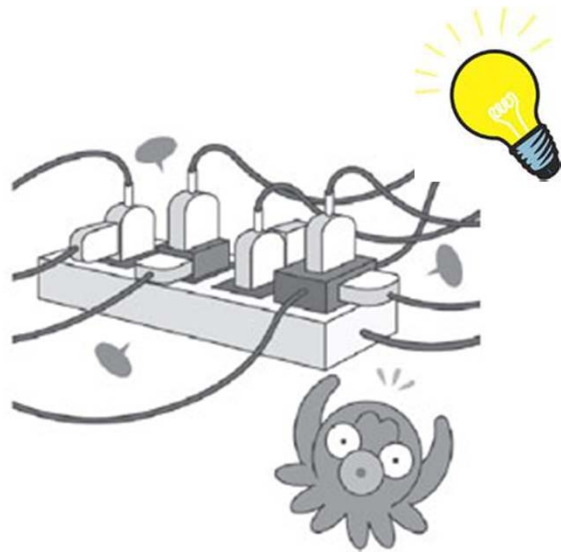


図2 ニューロンとシナプスの概念図

人間の脳とコンピュータの違い

- ロボットにはじめて「インスタントコーヒーを入れてくれ」と頼む場合、実際どのような動作指示（プログラム）をしなければならないのか？
- 人に頼んだ場合はどのくらい必要か？



| ロボットに頼んだ場合 | 人に頼んだ場合 |
|------------|---------|
| | 湯を沸かす |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

興味がないのかわからないのか

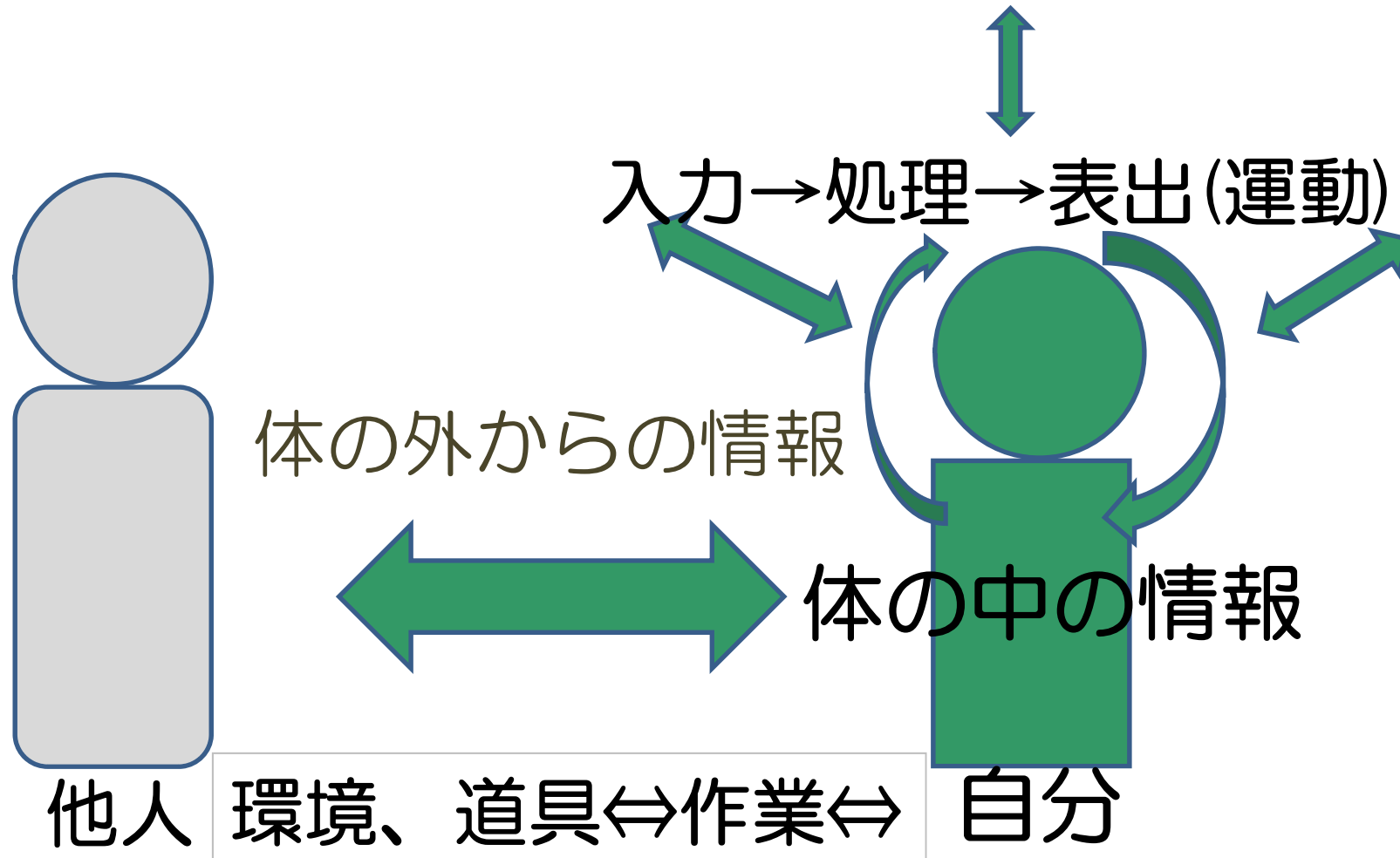
| ロボットに頼む | 子どもに頼む | 大人に頼む |
|--------------------|--------------------|--------------|
| ポットを蛇口の下に置く | ポットに水を入れる | 湯を沸かす |
| ポットのふたを開く | ポットのスイッチを入れる | 珈琲をスプーン一杯入れる |
| 蛇口を開く | 湯が沸くまで待つ | 湯をカップに注ぐ |
| ポットの水が上限の線に達するまで待つ | ポットのスイッチを切る | |
| 蛇口を閉じる | 珈琲の瓶を開ける | |
| ポットの電源を入れる | 珈琲をスプーンでカップに移す | |
| ポットのスイッチをオンにする | ポットの湯を注ぐ | |
| ポットのスイッチが切れるまで待つ | | |
| | 北摂杉の子会 無断での転載複写を禁ず | 12 |

2 感覚のこと

北摂杉の子会 無断での転載複写を禁ず



人は感じて動く-危険から身を守る、探索するため



情報処理の過程に偏り →感覚のアンバランス

- **過敏さ**：軽く触れたのが叩かれたように感じる
苦手な刺激の予感におびえる
もの音が苦痛なくらい大きく聞こえる
- **鈍感さ**：話かけられてもわからない
けがや病気に気がつかない



- **理解力の偏り**：大事な話が聞き取れない。物がみつからない
全体像がとらえにくい
- **過剰な反応**：耳ふさぎをする。手をはねのける。たたく。
逃げる。隠れる。

苦手な感覚への配慮

- 聴覚過敏
 - ： 苦手な音は出さないように工夫
 - 突発的な騒音は最低限に
 - 耳栓やヘッドフォンの使用
- 触覚過敏
 - ： 服の材質を極力そろえる
 - 同じ服を着続けてもよいことにする
 - タオルなどリネン類も同様に
- 視覚過敏
 - ： 強い光を避ける。扉やカーテンで目隠し
- 味覚の偏り
 - ： 無理強いはしない
- 痛みの鈍感さ
 - ： 大人がよく観察する。
 - 痛みや違和感を報告することの大切さを説明する

3 成人通所施設での様子

追加スライドなし



4ライフステージにおける課題と 子どもと養育者の関係のつくり方

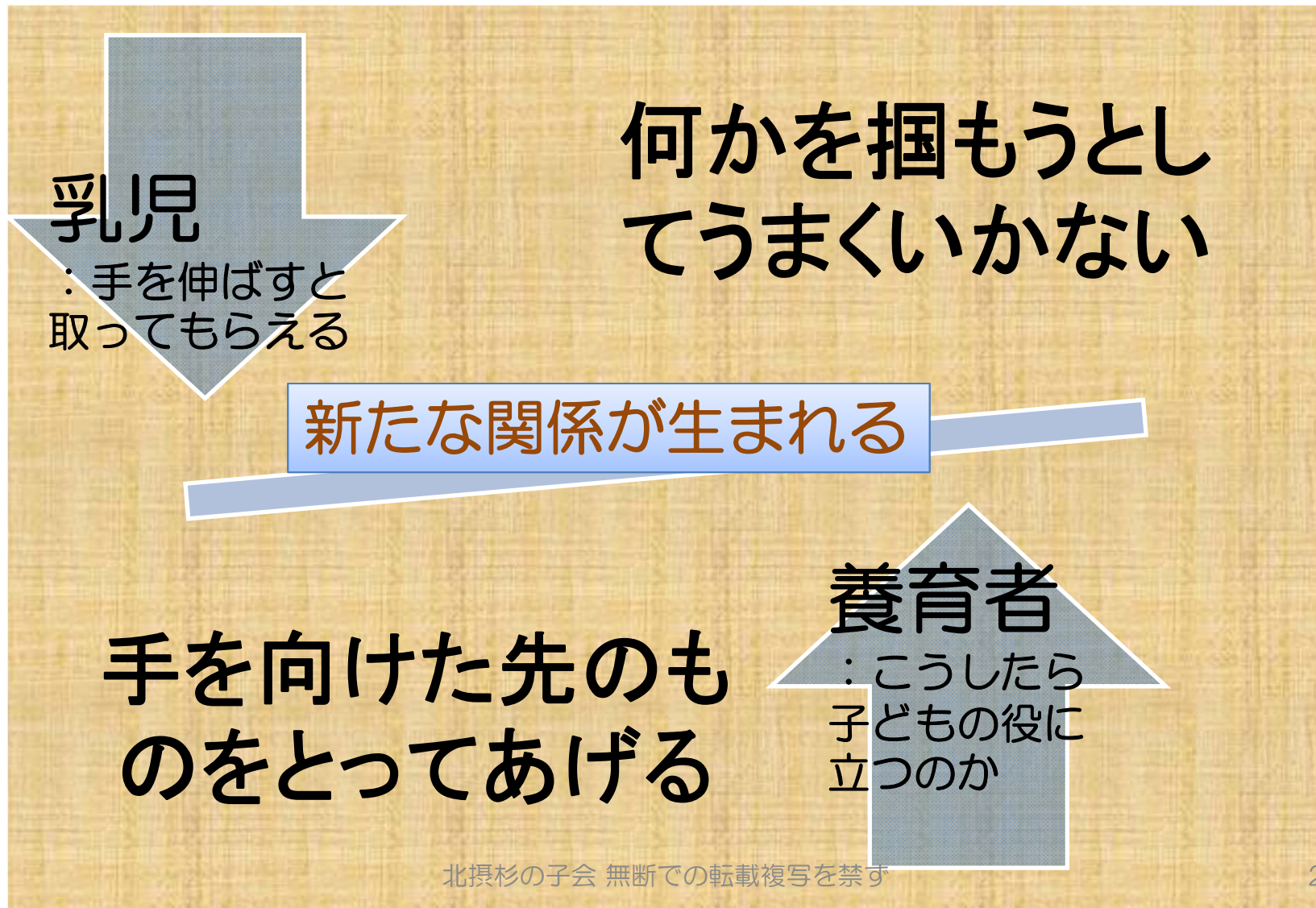


思春期・成人期の二次障害

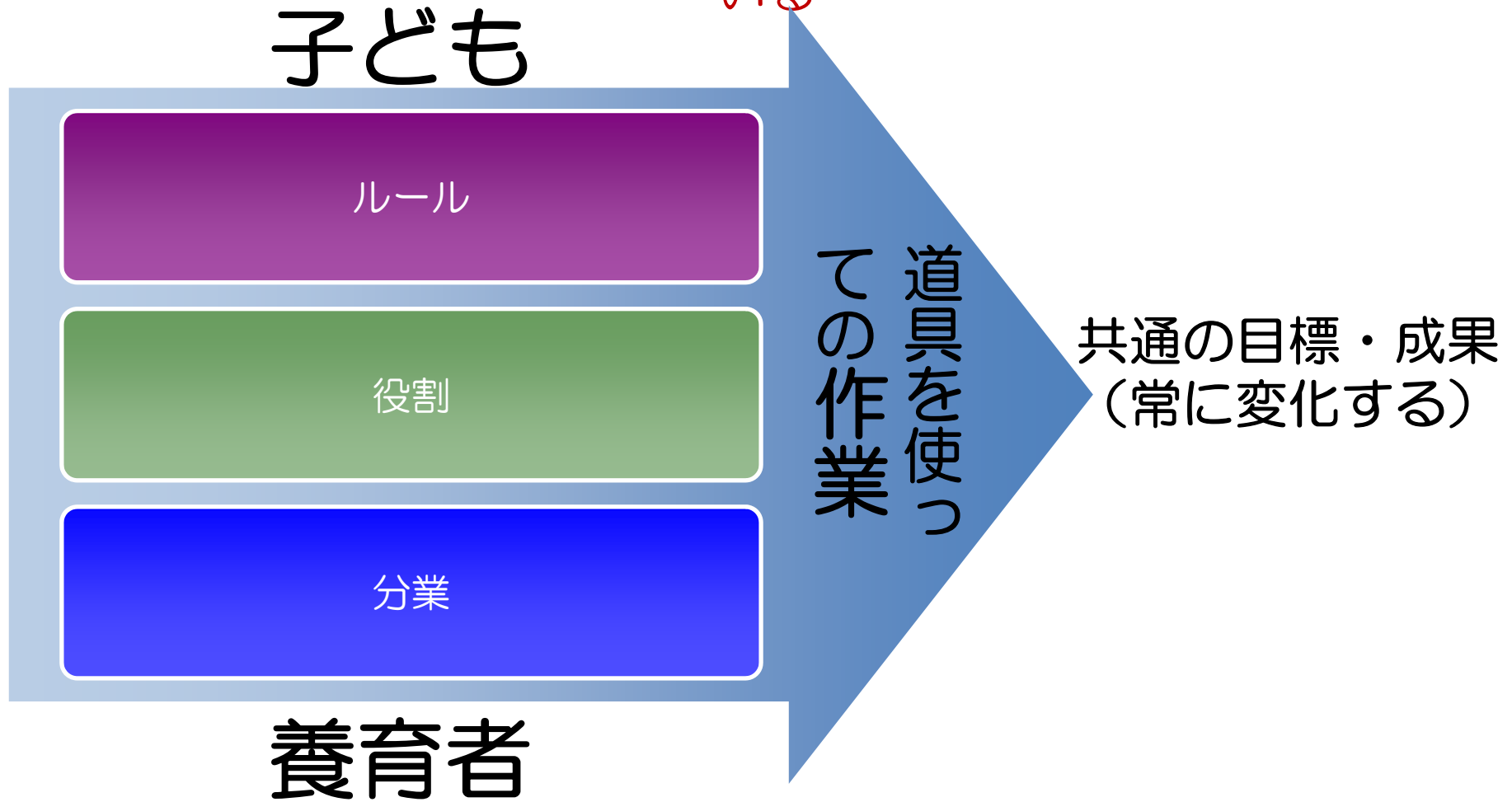
- 怒られて傷つく体験や失敗を積み重ねて、思春期や成人期に至った場合
- 育てにくさから、一生懸命子育てして虐待にいたったケースもある
- 強いストレスが慢性的な刺激になると脳の発達が損なわれる
- 放置によって、「拒否すればやらなくて済む」「暴力で解決する」と間違った学習を重ねた結果、思春期になって周囲とうまく関係を取れなくなってしまう、自分なんかダメだと思う

→では、どのように関係をつくったらよいか？

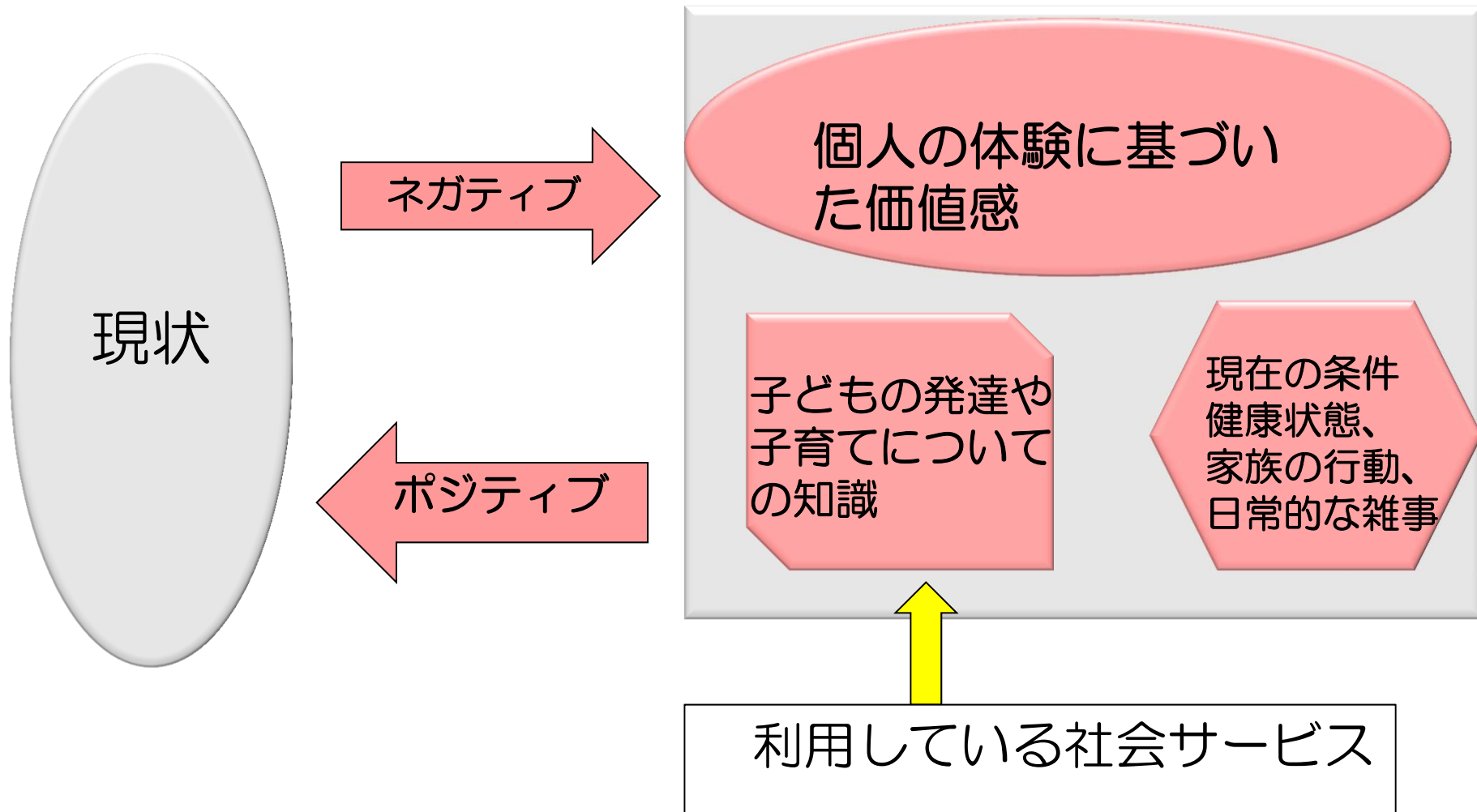
子どもと養育者の相互作用-指差し



共通の経験-子どもが一方的に学ぶのではなく養育者も学んでいる



養育者の児に対する思いも現状をつくっている



親のメンタルヘルス

- 親が良い状態であると、子どもと良い関係が作りやすい
- 眠れないなどの症状が出たときは
 - 疲れたときは無理せず休む・気分転換をする
 - 一人ではできないことは、周囲の人に頼む
 - 子育ては長い目で考える
 - 医療機関の受診をためらわない

5 生活のこと、仕事のこと ワンポイントアドバイス

追加スライドなし

